

## 竜丘地区防災訓練 ～防災に終わりはない～



始めに、この度の台風15号・台風19号の被災地の方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

「防災に終わりはない。」本年度の竜丘地区地震防災訓練を終え安堵した雰囲気の中で、下平勝熙会長が訓練を振り返り、改めて災害に対する意識を高めるよう呼びかけられました。今年の地震防災訓練は、東日本大震災以降、大阪北部、北海道胆振地方、熊本地方、山形県沖など、度重なる地震災害を目の当たりにしていたため、竜丘地区住民の防災意識が高く、3,813名と昨年よりも1,100名も多くの方々に参加されました。

想定した地震に対し、自治振興センターに設置された竜丘本部から、各区の災害対策本部へ次々と指示伝達される事項に対し、

迅速に対応され、竜丘自主防災会で計画した訓練内容を全て予定通り実施されました。

この訓練の経験は、台風19号の襲来に早速生かされました。危機管理室からの指令を受け、竜丘各区で一時避難所を設置し、デジタル無線で各区の避難状況などの情報を共有しながら、災害に備えることができました。また、河川の増水に不安を抱える住民の方の要請に各区と連携し対応でき、身近な地域の自主防災会へ厚い信頼を寄せられていることを実感しました。

連日、台風19号の被災地の状況を目の当たりにする度に、誰もが、自分にできることはないかと自問自答されていると思います。下平会長の「防災に終わりはない」の高い防災意識と博愛の精神を抱きながら、連帯意識を高め生活していく重要性を改めて感じます。

被災地で活躍するボランティアの姿から、南米のアンデス地方に伝わる「ハチドリの一とせずく」という短い話を思い出しました。

森が燃えていました。森の生きものたちは、われ先にと逃げていきました。でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたり口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て、「そんなことをして、いったい何になるんだ」といって笑います。クリキンディはこう答えました。

「私は、私にできることをしているだけ」

たとえどんなに非力で無理だと思っても、とにかく行動することを決心できる、竜丘自主防災会を目指したいです。  
(竜丘自主防災会 副会長 中田 博)



## 不法投棄パトロール ～できることから始めよう～



環境委員会では10月20日(日)に、竜丘地区不法投棄パトロール員の今村さんに協力をいただき、秋の不法投棄パトロールを実施しました。このパトロールは竜丘地区内の主要道路や河川、人目に付きにくい山間地を見て回り、ごみの不法投棄やポイ捨ての状況を自分たちの目で確認し、その場でごみ拾いを行うものです。

また、このパトロールの結果から11月に実施される秋の竜丘クリーン運動、全市一斉秋のごみゼロ運動とつなげていくもので、小さな活動の輪が竜丘全体に広がり、地区内に不法投棄やポイ捨てがなくなるように、環境委員の限られた委員数ではありますが今後も継続していきたいです。

『できることから始めよう みんなでつくるきれいな竜丘!』

(環境委員会 委員長 久保田 勉)

## 連載シリーズ 第12回 ～ 紹介します ～ 「お日待ち」



お日待ちは、太陽崇拜の古来信仰の名残とみられ、1、5、9月の吉日が選ばれ、前夜から潔斎して寝ずに日の出を待ち、早朝太陽を拜んで帰るといふ原形が各地にあります。長野原区では毎年1月31日の夜、祭壇を設け、天照皇大神を祭祀し、地区の安泰と五穀豊穡を祈願して、住民が酒肴を持ち寄り、日の出を待ちながら語り明かしたのが、現在まで連綿として継承されてきた伝統行事です。

近年に至っては、人口の増加等環境の変化から輪番制と寄付行為を主体として、1月31日の直近の日曜日に、区民センターを会場に酒肴・握り飯を用意し、老若男女を問わず一堂に会して夜更けま

での語り合いの行事となっています。つまり、この行事が長野原区全体のコミュニケーションとふれあいの場となり、「和」が保たれる独特の行事として根付いています。（一部竜丘村史参照）

（長野原区長 下井田 実）

## 飛散防止フィルム ～ あなたの家は大丈夫？ ～

ガラス飛散防止フィルムを知っていますか？

災害等でガラスが割れて怪我をしないように、あらかじめガラスに貼っておくシートのことです。先日、児童センターの一階と二階の玄関ドアのガラスに飛散防止フィルムを貼る作業がありました。フィルム自体は専用の物で、日赤奉仕団の指導のもと、作業が進められました。ガラス窓のサイズに合わせてカットするのが大変でしたが、貼り付け作業は初めてにしては上出来だったのではないかと思います。

台風15号の暴風でガラス窓が無残にも割れて散乱しているのをテレビ等で見て、人ごとではないなと感じていましたので、出来たら全ての避難所にもフィルムを貼ってもらったら安心できると思いました。今回、ご協力いただいた竜丘自主防災会の皆さん、児童センターの職員の皆さんお疲れ様でした。

（赤十字奉仕団 竜丘分団 副分団長 伊東 ちさと）



## 竜丘 四季折々の植物 〈2〉 ～ 私の安らぎの庭 長野原～

念願だった庭づくりを始めたのは15年程前。庭の入口にレンガで門を整備したのを契機に、コチコチに固まった庭の土を掘り起こしました。小石を取り除いて腐葉土をすき込み、手当たり次第に草花を植えました。

株立ちの木を数本植え、高低差を出し、花を引き立てるために葉物が大事なことも気付きました。銅葉、銀葉、黄葉などの葉の色や、大きな葉や縦に伸びる葉の面や線を組み合わせることによって、変化のある庭が出来ました。

『趣味の園芸』をテキストにして、毎月熱心に読み、素敵なお庭があると聞くと見せていただき情報交換をしました。この頃が、庭作りに一番燃えた時期でした。



しばらくすると、自分の目指す庭が何となく見えてきたように思います。緑の中にやさしげな花が四季折々どこかで咲いている、宿根草を中心にした手入れの楽な庭に落ち着いてきました。

珍しい植物を集めるのではなく、地元で元気に育っているものが一番と思うようになりました。それらをいかにバランス良く、おしゃれに植えるかを日々考えています。

年齢と共に、手入れも大変になってきましたが、四季の移ろいの中で元気と安らぎを与えてくれる庭に感謝です。

（長野原 今村 美澄）